

「大敦賀行進曲」のルーツを探る。

NHK朝ドラ主人公のモデル 古関裕而氏が作曲

毎年9月、敦賀まつりのフィナーレを飾る民謡踊りの夕べでお馴染みのメロディ「大敦賀行進曲」。その作曲を手掛けたのは、現在放送中のNHK連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルとなった故古関裕而さんであることをご存知でしょうか。



昭和11年(1936)に発売されたSP盤「大敦賀行進曲」。SP盤は1950年代前半にLP盤やシングル盤が登場して以降、姿を消しました。(敦賀市立博物館所蔵)



シングル盤として再販された「大敦賀行進曲」。(山崎正清さん所蔵)

ドとなり発表されました。古関さんのプロフィールを辿ると、「大敦賀行進曲」が発表された前年に新民謡「船頭可愛や」が大ヒット。人気作曲家の間入りを果たした頃で、「大敦賀行進曲」も全国的に反響を呼びました。

弟子が語る古関氏の素顔

そんな古関裕而氏の素顔を知るのが、かつてコロムビアレコードに在籍し、現在は敦賀市内で楽器店を営む山崎正清さん。

「古関先生から作曲を学びました。私が師事していたのは昭和31年頃から約5年ほどでしたが、先生はとてもしゃさしい方で、楽譜の書き方など作曲の

大敦賀行進曲
作詞 高橋陶太郎
作曲 古関 裕而

注 この歌は故宇野浩三氏等のお世話によって昭和十一年二月にレコード化された。當時子供から大人まで広く歌われた。なお楽譜は満州懸えば(四十九頁)が吹き込まれており、大ヒットした。

敦賀市民憲章推進協議会発行の小冊子「敦賀のうた」に掲載されている楽譜。

大人から子どもまで 広く親しまれて

基礎を全部教えてくださいました」と当時を懐かしく振り返ります。ミュージカルからラジオドラマの楽曲、校歌まで幅広い曲を手掛けていた古関さん。その教えを受けた山崎さんも水前寺清子さんが歌う「敦賀とてもすきすき」を作曲。この曲も民謡踊りの夕べで親しまれています。「先生が『大敦賀行進曲』を作ったということは後になって知りました。師弟で同じ街の当地ソングを作曲したというのも珍しいのではないのでしょうか。」と話します。

「大敦賀行進曲」は、発表された当時は蓄音機で再生するSP盤でした



敦賀まつりのフィナーレを飾る民謡踊りの夕べ。市内各地区が参加し、「大敦賀行進曲」や「敦賀とてもすきすき」に合わせて踊りを披露します。(写真提供/西崎文萌さん)

が、後にシングル盤として再販。今日まで大人から子どもまで広く歌われてきました。

地元の舞踊家で敦賀市文化協会副会長の西崎文萌さんも「市内の小学校では、昔から運動会等の行事で必ずこの曲を踊っているの、市民は誰でも知っているお馴染みの曲。私たちはこの曲と踊りを後世に引き継いで行きたいと思っています」と話します。

今年の敦賀まつりはあいにく中止となつてしまいましたが、耳に馴染んだあの歌を心の中で口ずさめば、曲のパワーが「エール」となつて響いてきそうです。

参考文献…
「敦賀市教育史」(敦賀市教育委員会発行)